

十一月四日午後一時三十分以 控業員久山智義 吉元勘三助 小川山
尾八會社ヲ訪問 會社側ニ輪幸ヲ務ト會見折衝シタリ 會社側
ニ於テハ社側ニ基ク勤続年數一年ニ對スル日給五日分ノ割合ニ
依ル退職手當ニテ雇傭契約ヲ解キ更ニ控業員ノ失業ヲ考慮シ
該工場ヲ賃賃僱ノ形式ニ依リ職工發理ト為ス可ク提案シタル
モノ一同一カ則答ヲ遊ケ不日回答ヲ約シテ辭去セリ

(3) 前四會社側提案ニ係ル職工發理向款ニ對シ望五日後午後二時
控業員代表トシテ久山智義吉元勘三助伊藤極ノ三名本社ヲ訪
問會社ニ輪幸務愚慮囑託ト會見發理不可能ナリト回答シ
次ヲ解雇手當向款ニ對シ六日午前十一時本社ニ於テ會見ノ約
シ午後三時辭去セリ
斯ラ六日午前十一時三十分久山智義外五名ニ輪幸務
會見會社側ニ於テハ別室同ノめ々讓步案ヲ提示シ之ノ

明シタルニ控業員側ニ於テハ希望ノ半ニ至到與マサル旨ヲ回
答シ今一應美方ヲ要張ン會社側ニ於テ之ヲ諒トシ重役會
議ニ諮リ回答スヘント為シ午後三時三十分散會セリ

六 労働者側
控業員等ハ労働組合ノ應援ヲ成ル模稜ナリ 控業員ノミノ手
ニ依リ解決セシム可ク對策協議中
八 事業主側

控業員側ノ比較的隱微ナル態度ニ同情シ溫情ヲ示シ以テ臨ミ居
リ相安寧協性アル模稜ナリ
右及中(通)水取也